

市川市 地域防災力向上計画

本市では、千葉県地域防災力充実・強化補助金を活用して、自助・共助の取組みを促進し地域防災力の充実強化を図るため、この計画を策定する。

○避難所環境の整備

①現状及び課題

地震や台風・大雨等の災害に備え、多くの市民が集まる避難所の環境整備を行い、災害時に市民が安心して過ごせる環境を整える。

②基本方針

主に下記4つの整備を行い、避難所環境の向上を図る。

- (1) トイレ環境の整備
- (2) 備蓄食料品の整備
- (3) 衛生用品の整備
- (4) 電源等の整備

③具体的な取組、目標

(1) トイレ環境の整備

避難所のトイレは和式が多いため、洋式化を進めトイレの利便性向上と衛生面改善を行う。また、下水道施設が破損しトイレが使用できない状況に備え、携帯トイレの備蓄を進める。

目標：トイレの洋式化 小学校3校
携帯トイレの購入 100,210枚

(2) 備蓄食糧品の整備

避難所に避難された方に対して提供する備蓄食料の整備を行う。

ガス、電気等のインフラが停止した場合でも食事ができるよう、クラッカーやアルファ化米、飲料水等の備蓄を進める。

目標：アルファ化米 15,600食

粉ミルク 6,720食 他

(3) 衛生用品の整備

避難所は、多くの人が集まり生活する場所になるため、マスク、消毒液等の感染症対策用品のほか、長期保管できるおむつや生理用品等の購入を行い、衛生環境の整備を継続的に進める。

目標：マスク 12,500枚
おむつ 4,024枚
生理用品 5,160枚 他

(4) 電源等の整備

過去の災害では大規模停電が発生し復旧までに時間を要している。このため避難所内での電力、照明の確保を目的に、大型蓄電池とLEDバルーンライトの整備を計画的に進める。

目標：大型蓄電池 10基
LEDバルーンライト 10基

○地域の防災力強化

1. 各種防災マップの作成

①現状及び課題

市川市では防災マップ（水害ハザードマップ、減災マップ）を作成し、水害時の市内の浸水想定や地震の被害想定、津波浸水被害想定、災害種別ごとの避難所等を掲載しており、訓練や防災講話等で配布し広く市民に周知する必要がある。

②基本方針

災害発生時に的確な判断と行動ができるように、水害ハザードマップ、減災マップの内容更新を行うとともに市民に広くマップを配布することで、災害における知識等の普及や防災対策及び防災意識の向上を図る。

③具体的な取組、目標

防災マップを各15,000部作成し防災訓練や防災講話等で配布する。

目標：防災マップ 各15,000部の作成、配布

2. 自主防災組織の資器材購入費等補助

①現状及び課題

発災直後に住民自身が自発的に対応を行い、被害を最小限に抑えるため、地域住民で構成される自主防災組織の結成を促進する必要がある。また、自主防災組織への防災活動促進、防災体制整備への支援を行っていく必要がある。

②基本方針

自主防災組織に対し、地域の自主的な防災体制の整備を支援するため、防災資器材の購入や修繕等の費用に対する補助金を交付する。

③具体的な取組、目標

市公式 HP や防災講演会、防災訓練等で補助金制度の周知を行い、一件でも多くの自主防災組織への支援を行う。

目標：自主防災組織への資器材購入費等補助金交付件数 40件